



Information

2017.12

Vol. 78

日本気象協会の最新事業のご紹介

Contents1

ドローン向け気象情報提供とドローンによる気象観測の実証試験を南相馬市で実施へ
～安全で効率的なドローン運航の実現を目指す～

Contents2

ドローンパイロット専用スーツを発表
～国内外から注目を集めるドローンによる高層気象観測～

Contents3

タイ国の気候変動研究チームが日本気象協会を訪問

Contents4

「エリアプライス予測」を開始
～多くのご要望にお応えして電力取引価格の予測(プライス予測)サービスを拡充～



北海道川上郡弟子屈町 摩周湖 (ましゅうこ)

ドローン向け気象情報提供とドローンによる気象観測の実証試験を南相馬市で実施へ
～安全で効率的なドローン運航の実現を目指す～

NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)と日本気象協会は、10月24日から26日の3日間、ドローン向け気象情報提供のデータ連携の実証試験とドローンによる気象観測の実証試験を、福島県南相馬市の福島浜通りロボット実証区域で実施しました。

今後、これらの実証試験で得られた知見をもとに、ドローン向け総合気象情報提供機能の開発を進め、ドローンの利活用拡大と安全で効率的なドローン運航の実現を目指します。

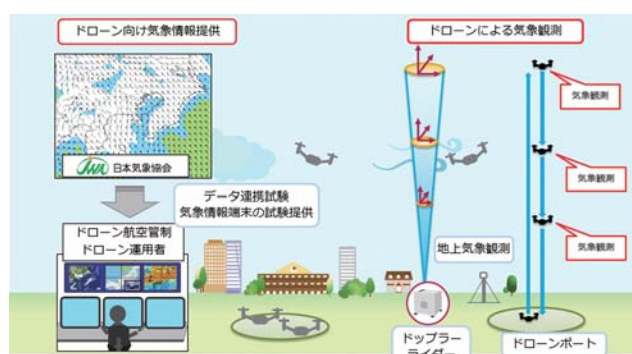


図 実証試験の概要

1. 概要

NEDOは、「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」において、物流、インフラ点検、災害対応等の分野で活用できる無人航空機およびロボットの開発を促進するとともに、社会実装するためのシステム構築および飛行試験等を実施しています。日本気象協会は、本プロジェクトの中で、ドローン運航管理システム向けの総合気象情報提供機能の研究開発に取り組んでいます。ドローンの活用を物流、インフラ点検、災害対応などの分野で進めるためには、ドローンの安全飛行を妨げる突風や豪雨、雷、霧などの気象現象を、詳細かつ正確に把握し、予測することが重要であることから、日本気象協会は、ドローン向け気象情報を「把握」・「予測」・「提供」する技術の開発を進めています。

なお、本実証試験では、同期間中に日本無人機運行管理
コンソーシアム(JUTM)が主催する「2017年度JUTM福
島社会実証:人とドローンが共生する未来社会の実現に向
けて」に参加する17事業者に気象観測や予測のデータを提
供し、より多くの利用者のニーズの把握を行いました。



2. 実証試験の内容

今回の福島県南相馬市での実証試験では、以下の試験を行いました。

(1) ドローン向け総合気象情報提供機能の開発に向けた実証試験

ドローン離発着場での地上気象観測とドップラーライダーによる上空の風観測を行い、その観測データと実証エリア付近の気象予測をドローン運航者とドローン航空管制事業者へ試験提供を行いました。

●地上気象およびドップラーライダーによる気象観測

ドローン離発着場に、気象センサーとドップラーライダーを設置し、気象観測を行いました。気象センサーにより地上気象の観測を行いました。ドップラーライダーにより高度50～150mの風を測定しました。

● 気象情報データの連携試験

雨、風などの予測データをドローン運航管理システムに試験配信を行いました。

●ドローン向け総合気象情報の試験提供

天気予報、台風、地震、津波、雨、風、雷、竜巻などの気象情報を閲覧可能なPCを設置し、気象情報のニーズや課題を確認しました。

(2) ドローンによる気象観測の実証試験

本実証試験では、気象センサーを搭載したドローンを飛行させ、高度50m、100m、140mの気象観測を行いました。この結果は、ドップラーライダーの観測との比較により精度検証を行い、今後の開発に役立てていきます。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<http://www.iwa.or.jp/news/2017/10/post-000925.html>

Contents2

2017.10.24発表

ドローンパイロット専用スーツを発表 ～国内外から注目を集めるドローンによる高層気象観測～

日本気象協会は、ドローン(UAV:Unmanned Aerial Vehicle、無人航空機)パイロット専用スーツを10月24日(火)に発表しました。ドローンパイロット専用スーツは、福島県南相馬市でNEDOと共同実施する「ドローン向け気象情報提供とドローンによる気象観測の実証試験」にて10月24日(火)から着用を開始しました。

日本気象協会のドローンパイロットチーム「TeamReNA(ReNA:Research aerial vehicle for Non-reachable Atmosphere)」は、一定以上の飛行時間を経験した、気象観測に特化したドローンの特殊操作技術を有する日本気象協会の職員を中心に構成されています。今回発表するドローンパイロット専用スーツは、気象観測を熟知し、かつ優れたドローン操縦技術を持つ「TeamReNA」の専属パイロット3名(2017年10月24日現在)のみが着用する専用スーツです。

ドローンパイロット専用スーツのテーマは「気象×ドローンで広げる未来の可能性」です。気象観測・解析の知見とドローンの活用を組み合わせることで実現する『未来』をイメージし、動きやすいストレッチ素材とスリムなデザイン



ドローンパイロット専用スーツを着用した
日本気象協会のドローンパイロットチーム「TeamReNA」のメンバー

を採用しました。ネイビーを基調に、日本気象協会のロゴマークをアクセントとしています。

日本気象協会は今後もドローンを有効活用したフィールド調査による実証実験を主体とした研究開発を通じて、気象および環境調査技術の向上に貢献していきます。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2017/10/post-000927.html>

Contents3

2017.10.19発表

タイ国の気候変動研究チームが日本気象協会を訪問

日本気象協会は、10月4日(水)、地球規模課題対応国際科学技術プログラム(SATREPS)の一つである「タイ国における統合的な気候変動適応戦略の共創推進に関する研究」(研究代表者:東京大学生産技術研究所 沖大幹教授)のITを専門とする研究チームの訪問を受けました。タイ・カセサート大学工学部、王立灌漑(かんがい)局、タイ気象局などのメンバーで構成された研究チームは、ドローン(UAV:Unmanned Aerial Vehicle、無人航空機)を活用した最先端の環境計測技術の調査を来日の目的の一つとしており、訪問先企業として日本気象協会が選ばれました。

日本気象協会からは、京都大学防災研究所と共同で実施しているドローンによる高層気象観測技術の研究開発内容と実験結果などを紹介したほか、本社 予報エリアの見学会を実施しました。研究チームは桜島で実施したドローンによる高層気象観測の内容に強い関心を示し、ドローンの

実機を前に活発な意見交換が行われました。

日本気象協会は、これからも各国それぞれのニーズに合わせた国際協力を積極的に推進してまいります。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2017/10/post-000926.html>

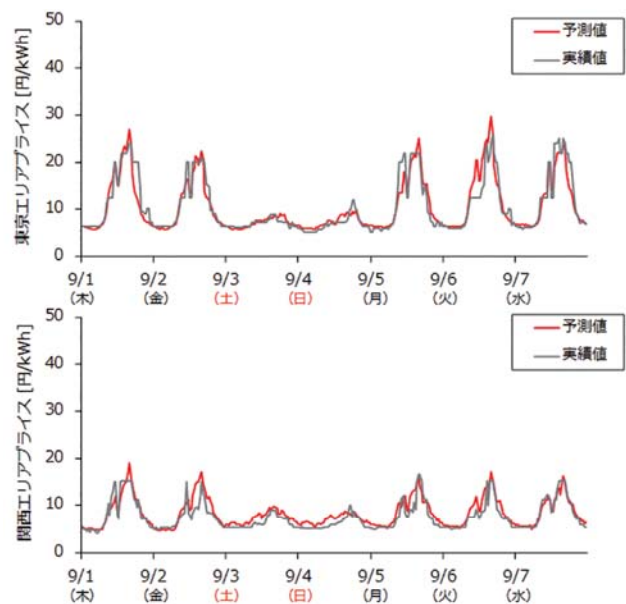
「エリアプライス予測」を開始

～多くのご要望にお応えして電力取引価格の予測(プライス予測)サービスを拡充～

日本気象協会は、日本卸電力取引所(JEPX)のスポット市場を対象として、全国9エリア(北海道、東北、東京、北陸、中部、関西、中国、四国、九州)の卸電力取引価格「エリアプライス」の予測データ配信サービスを2017年10月23日(月)から開始しました。

日本気象協会では、2017年8月からスポット市場での30分ごとの電力取引価格(システムプライス)を人工知能(AI)を使って予測する「プライス予測」を提供してきました。このたび、多くのお客さまからのご要望にお応えして全国9エリアのプライス予測にも対応し、サービスを拡充します。エリアプライス予測の提供開始により、小売電気事業者や発電事業者は、全国9エリアの市場価格やそのエリア間の価格差を考慮した、より経済的かつ効率的な電力調達計画の作成にご活用いただけます。

なお、予測期間を延長した「週間予測」の配信サービスについては今冬に提供開始予定です。今後もさらなるサービス拡充を続けていきます。



エリアプライスの予測結果(2016年9月上旬の東京・関西)
天候・曜日などに伴う価格の変化傾向に加えて、エリア間の価格差を的確に表現



このサービス・商品に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<http://www.jwa.or.jp/news/2017/10/post-000923.html>

季節のことは(冬)

日本気象協会は、平成23年(2011年)2月より、現代の季節感にあう「新しい季節のことは」を提案するための取り組みを行ってまいりました。

平成25年(2013年)の春、「季節のことは36選」を選定しました。

「季節のことは36選」はホームページ「暦の上では」やJWAカレンダーなどで紹介しています。

12月／冬将軍、クリスマス、除夜の鐘

1月／初詣、寒稽古、雪おろし

2月／節分、バレンタインデー、春一番

「暦の上では」ホームページ
<http://24setuki.com>

トピックス

2017.11.10発表

天気予報専門メディア『tenki.jp』は今年で20周年 ～20周年記念サイトをオープンしました～

1997年にWebサイト「防災気象情報サービス」として開始したのが「tenki.jp」の原点です。インターネット市場の成長と共にバージョンアップを重ね、皆さまへ日々の天気予報、防災情報を発信し続けてきました。

20周年記念サイトでは、日本気象協会の職員が撮影した季節の写真を素材に「20周年ありがとう」の気持ちをこめたトップページからはじまり、天気予報の歴史やtenki.jpクイズなどのコンテンツをお楽しみいただけます。



tenki.jp20周年記念サイト
<https://tenki.jp/docs/anniversary/>

一般財団法人 日本気象協会



<http://www.jwa.or.jp>
<http://www.tenki.jp>

本社	〒170-6055	東京都豊島区東池袋3丁目1番1号サンシャイン60 (55階)
北海道支社	〒064-8555	札幌市中央区北4条西23丁目1番18号
東北支社	〒982-0841	仙台市太白区向山4丁目20番14号
中部支社	〒462-0042	名古屋市北区水草町1丁目21番5号
関西支社	〒542-0081	大阪市中央区南船場2丁目3番2号南船場ハートビル (15階)
九州支社	〒814-0002	福岡市早良区西新1丁目10番27号西新プライムビル (6階)

電話 (03) 5958-8111	FAX (03) 5958-8113
電話 (011) 622-2230	FAX (011) 640-2383
電話 (022) 216-4181	FAX (022) 216-4188
電話 (052) 912-1111	FAX (052) 911-0117
電話 (06) 6266-8420	FAX (06) 6266-8430
電話 (092) 833-8721	FAX (092) 833-8722